



＼「海洋×宇宙」で新たな価値領域を！／
日本郵船とロケット洋上回収技術の研究開発に参画
—JAXA 宇宙戦略基金事業の連携機関に—

❖ 概要

大阪大学大学院工学研究科(以下「大阪大学」)は、7 月 1 日より、日本郵船株式会社(以下「日本郵船」)が宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙戦略基金事業の一環として推進するロケット洋上回収に関する技術開発に、連携機関として参画します。

大阪大学の造船・舶用工学分野の知見を活かし、回収船の運動特性解析、回収船システムの最適設計、実証試験に向けた解析・基礎検討を日本郵船と共同で進め、再使用型ロケットの実現に向けた重要技術である「洋上回収技術」の確立を目指します。



(写真左より)日本郵船 児玉諭彦 海洋技術チーム長、
大阪大学 大学院工学研究科 牧敦生教授

❖ 背景と狙い

再使用型ロケットは、宇宙輸送の低コスト化・高頻度化を実現する鍵として、世界的に開発が進められています。その実現には、ロケットの機体を安全かつ確実に回収する技術が不可欠であり、海洋国家である日本においては洋上回収が有力な選択肢とされています。

大阪大学と日本郵船は、本プロジェクトを通じて、「海洋×宇宙」という新たな価値領域を切り拓き、日本の宇宙輸送能力の高度化と産業競争力の強化に貢献していきます。



洋上回収船のイメージ

❖ 研究の内容

大阪大学と日本郵船は今後、本学の造船・舶用工学分野における専門的知見を活かしながら、産学連携により船舶の運動・設計・システム工学の理論的検討を進めることで、技術基盤を高度化していきます。取り組む課題は以下の通りです。

1. 洋上回収船の運動特性に関する解析(波浪中動揺など)
2. 回収船システムの最適設計に関する検討
3. 実証試験に向けた解析および基礎検討

❖ **参考 URL**

牧敦生教授 研究者総覧 URL <https://rd.iai.osaka-u.ac.jp/ja/40fdd7b20f8b7a74.html>

<本取り組みの関連ニュース>

[JAXA の宇宙戦略基金事業に海運会社で初めて採択 | 日本郵船株式会社](#)

[再使用型ロケット洋上回収システムのコンセプト承認\(AiP\)を取得 | 日本郵船株式会社](#)

[宇宙事業への参画でイノベーションを起こす日本郵船のチャレンジ | BVTL Magazine | 日本郵船株式会社](#)

❖ **発信先 報道機関**

大阪大学から 大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会、科学記者会